

湊の立神岩

～玄武岩の特徴 柱状節理～

唐津市の北西、湊地区の沿岸に立神岩はある。立神岩は玄海灘に面した景勝地にあり、40mの高さをもつ玄武岩の大石柱が2個、玄海の荒波をまともに受けて立っている。

この海岸線は玄海国立公園の1部で、七ツ釜同様、玄武岩の断崖が玄海灘の波によって浸食されてできたもので、直径20～30cm余りの灰黒色の柱状節理が規則正しく並んでいるのが特徴である。

玄武岩の奇岩がいくつも重なりあっているなかで、周囲6m、高さ40mの男岩、女岩の巨大な玄武岩柱が天に向かってそそりたっている様子を、地元の人々は夫婦岩として畏敬の念をもっている。

この立神岩の東部岬は、第3紀層の紀井層が露出するなど、諸種の溶岩が点在し、地層と海食現象を観察することができる。

昭和51年3月1日 唐津市天然記念物指定
唐津市湊町（西唐津駅より車で30分）

分野 自然

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



立神岩＝別名「夫婦岩」
（『唐津探訪』より）



（『唐津市の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『唐津市の文化財』
唐津市教育委員会

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html